

2023年度第3四半期 決算説明

社長 岩田 圭一

2024年2月2日



住友化学

Change and Innovation

~ with the Power of Chemistry ~

本日の要旨 03

1. 2023年度第3四半期決算 04

2. 2023年度業績予想
および配当予想修正 08

3. 業績改善策の進捗 15

(参考資料) 20

2023年度通期業績予想修正および配当予想修正



- 通期コア営業損益は、**ペトロービグの赤字拡大と住友ファーマの大幅減益により△1,450億円へ下方修正。**
- **ペトロービグおよび住友ファーマを除く業績は期毎に改善。**
- **最終損益は△2,450億円へと下方修正。構造改革に関する費用を織り込み。**
- **11月予想時点からの大幅な状況変化に伴い、期末配当は1株当たり3円へと修正。**

業績改善策の進捗



- **キャッシュ創出5,000億円は想定以上に順調な進捗。現時点で3,500億円が確実に。**
- **業績悪化を受け、短期集中業績改善策をより加速、改善案件を積み増し。**
- **抜本的構造改革も専門チーム結成で強力に推進し前倒し。**
- **24年度V字回復および構造改革の進捗は、24年4月にご説明。**

Section

1

2023年度第3四半期決算

2023年度3Q業績 vs 前年同期 実績

(億円)

	2022年度 3Q実績	2023年度 3Q実績	増減	増減要因
売上収益	22,570	18,069	-4,502	
コア営業利益	1,422	-1,139	-2,560	住友ファーマ・ペトロラービグでの業績悪化
非経常項目	-707	-468	240	前期 住友ファーマ減損損失
営業利益(IFRS)	714	-1,606	-2,321	
金融損益	233	7	-227	
税金等	-531	-50	481	
非支配持分	186	552	366	
親会社の所有者に帰属する四 半期利益	603	-1,098	-1,701	
ナフサ価格	¥80,000/kl	¥68,400/kl		
為替レート	¥136.49/\$	¥143.33/\$		

2023年度3Q セグメント別 コア営業利益

(億円)

	2023年度 3Q実績	状況
エッセンシャル ケミカルズ	-620	需要の減退やマージンの歴史的な低迷、 ペトロラビグでの定修・トラブル影響
(うちPRC)	(-396)	
エネルギー・ 機能材料	94	電気電子分野で需要回復遅れ 拡販や合理化等により、一定の業績は維持
情報電子化学	368	ディスプレイ材料は、大型LCD材料で競争激化も、中小型OLEDは堅調 半導体材料市場は踊り場が続く
健康・農業 関連事業	-14	メチオニンはタイトな需給により市況反転。最適生産で損益改善へ 農薬は4Qの需要期に期待
医薬品	-956	基幹3製品の販売が伸び悩み
その他	-11	
合計	-1,139	

2023年度3Q セグメント別 コア営業利益（四半期推移）

(億円)

	1Q実績	2Q実績	3Q実績
エッセンシャル ケミカルズ（PRC除く）	-83	-69	-72
エネルギー・ 機能材料	30	35	29
情報電子化学	67	112	190
健康・農業 関連事業	-70	-5	62
その他 ^{※1}	-17	-15	29
小計（PRC、SMP除き）	-73	58	237
ペトロラービグ	-127	-165	-103
住友ファーマ	-335	-323	-305
合計	-536	-431	-172

※1：その他には、住友ファーマ以外の医薬品セグメントの業績も含む

Section

2

2023年度業績予想

および配当予想修正

2023年度 通期業績予想 vs 前回予想

(億円)

	2023年度 11月予想	2023年度 今回予想	増減	増減要因	2022年度 実績
売上収益	27,000	24,800	-2,200	需要回復遅れによる販売減少等	28,953
コア営業利益	-700	-1,450	-750	次頁参照	928
非経常項目	-550	-1,400	-850	構造改善費用を織り込み	-1,237
営業利益(IFRS)	-1,250	-2,850	-1,600		-310
金融損益	50	50	0		312
税金等	-150	-350	-200	繰延税金資産取り崩し	-471
非支配持分	400	700	300	住友ファーマ損失拡大	539
親会社の所有者に帰属 する当期利益	-950	-2,450	-1,500		70
ナフサ価格	¥70,000/kl	¥69,000/kl			¥76,600/kl
為替レート	¥143.03/\$	¥143.75/\$			¥135.50/\$

2023年度 セグメント別 コア営業利益予想 vs 前回予想

(億円)

	2023年度 11月予想	2023年度 今回予想	増減	増減要因	2022年度 実績
エッセンシャル ケミカルズ	-750	-870	-120		-342
(うちPRC)	(-500)	(-630)	(-130)	PRC交易条件悪化	(-106)
エネルギー・ 機能材料	20	50	30		152
情報電子化学	330	380	50		476
健康・農業 関連事業	400	400	0		573
その他	-10	-100	-90		-93
小計	-10	-140	-130		766
医薬品	-690	-1,310	-620	基幹 3 製品の拡販遅れ等	162
合計	-700	-1,450	-750		928

※PRCの今回予想値は同社1月16日発表内容から当社推測

2023年度 セグメント別 コア営業利益予想（四半期推移）

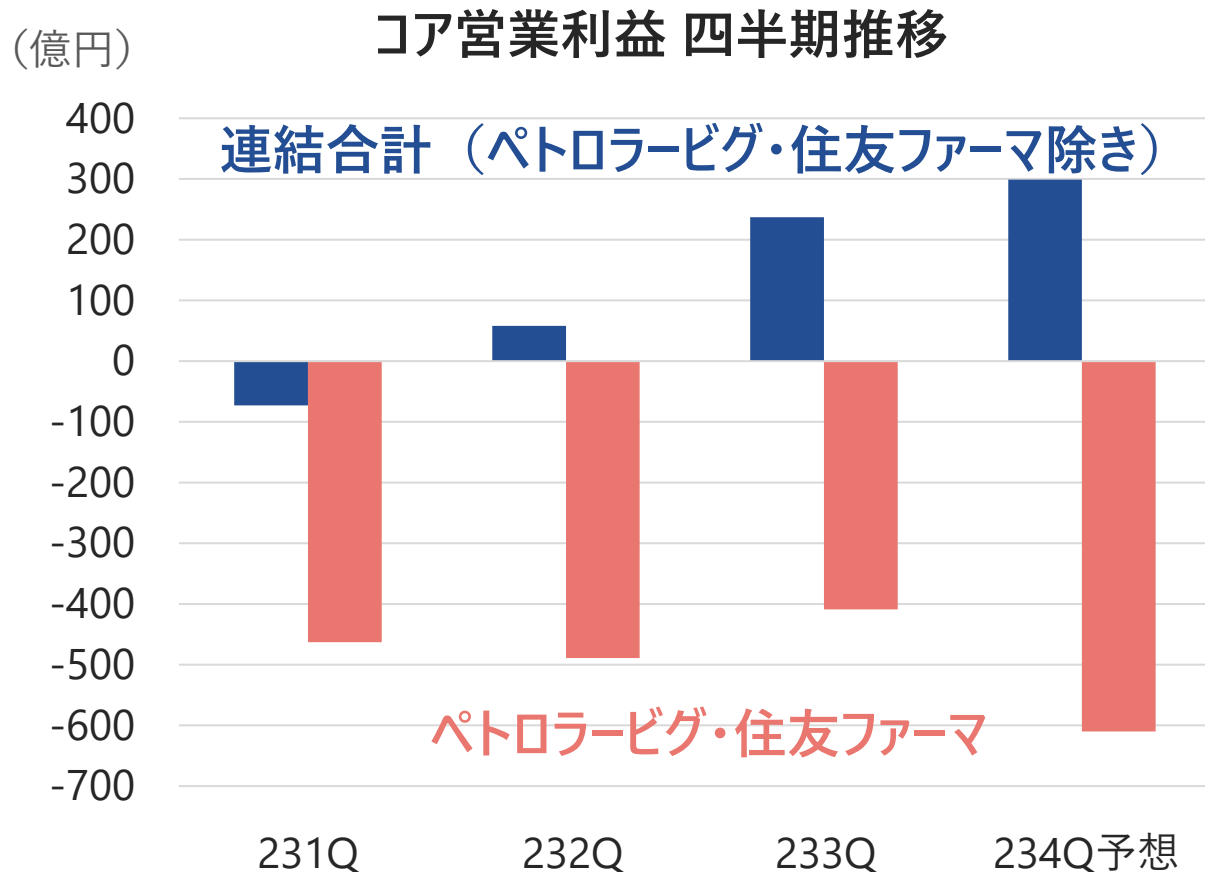
(億円)

	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	年間予想
エッセンシャル ケミカルズ (PRC除く)	-83	-69	-72	-16	-240
エネルギー・ 機能材料	30	35	29	-44	50
情報電子化学	67	112	190	12	380
健康・農業 関連事業	-70	-5	62	414	400
その他 ^{※1}	-17	-15	29	-67	-70
小計 (PRC、SMP除き)	-73	58	237	299	520
ペトロラービグ	-127	-165	-103	-234 ^{※2}	-630
住友ファーマ	-335	-323	-305	-376	-1,340
合計	-536	-431	-172	-311	-1,450

※1：その他には、住友ファーマ以外の医薬品セグメントの業績も含む

※2：PRCの4Q予想値は同社1月16日発表内容から当社推測

ペトロラービグと住友ファーマ以外の業績は回復傾向



情報電子・健康農業中心に回復
一段の業容拡大へ



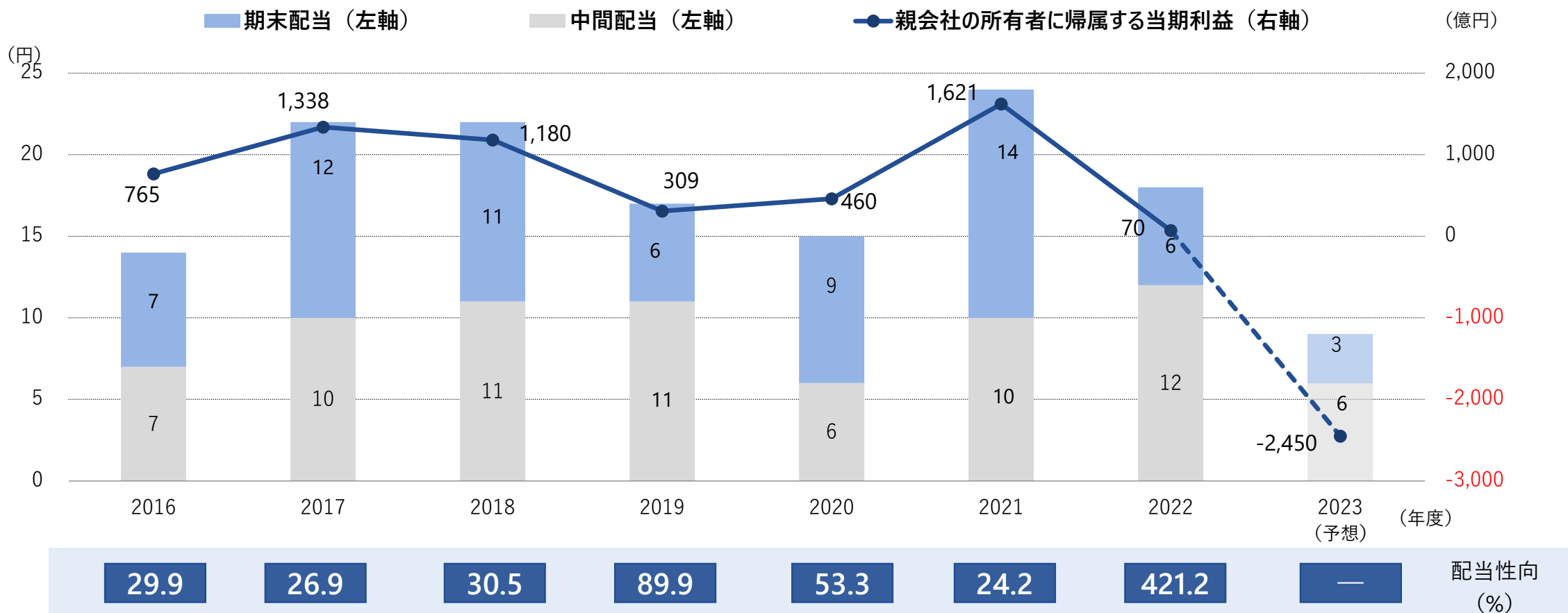
ペトロラービグ・住友ファーマは
最大の経営課題。
抜本的構造改革を急ぐ。

通期予想 非経常項目△1,400億円の内容

(単位：億円)

	3Qまで	4Q見込み	年間計
メチオニン減損損失	△146	△14	△160
SMP北米子会社再編	△205	△5	△210
構造改革に向けた費用 (主にエッセンシャルケミカルズ関連)	△118	△912	△1,030
合計	△468	△932	△1,400

さらなる最終赤字拡大により、期末配当は1株当たり3円へ配当予想を修正



Section

3

業績改善策の進捗

短期集中業績改善策の進捗（総括表）

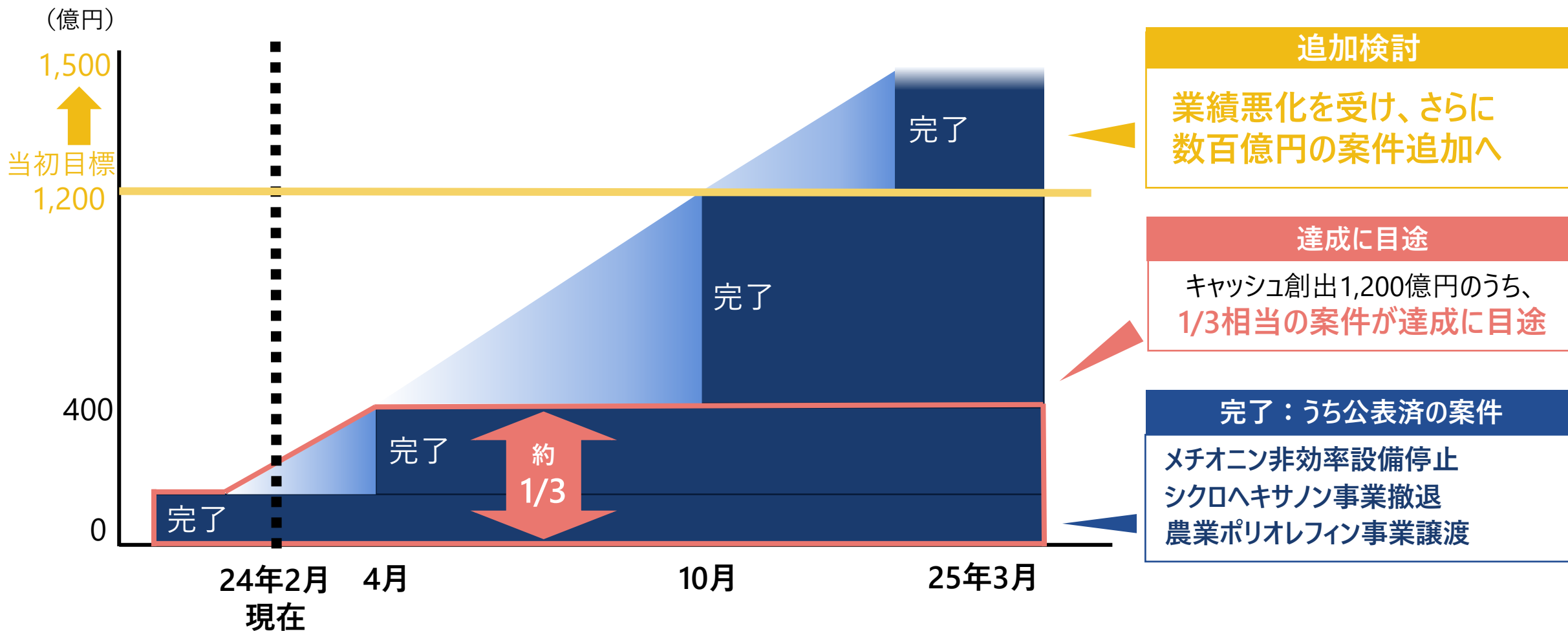
24年度の確実な業績V字回復に向けて、各種案件は着々と進行中

目標数値		進捗状況
キャッシュ創出 約5,000億円 （24年度末まで）		3,500億円 以上は確実に
事業再構築	キャッシュ創出：1,200億円 （約30件、コアOP500億円）	3件の実施について公表済 既に1/3相当は達成もしくは交渉最終段階 （キャッシュベース）
在庫削減	23年度上期末から 約1,500億円削減	計画通り進捗 23年度末で1,100億円削減へ
投資厳選	成長投資を維持しながら キャッシュベース1,000億円削減	さらに300億円～500億円の削減を目指す
資産売却・ 余資活用	政策保有株式売却 500億円 余資活用 700億円 その他資産売却 300億円	3Q累計実績：約310億円売却済み 23年度末に約700億円見込 稲畑産業株式を売却（約230億円）

キャッシュ創出1,200億円のうち、1/3相当の案件が達成に目途。さらなる案件積み上げへ



約30件の事業再構築プロジェクトの進捗状況（イメージ）



在庫削減・投資厳選の進捗

在庫削減・投資厳選ともに計画通り



在庫削減

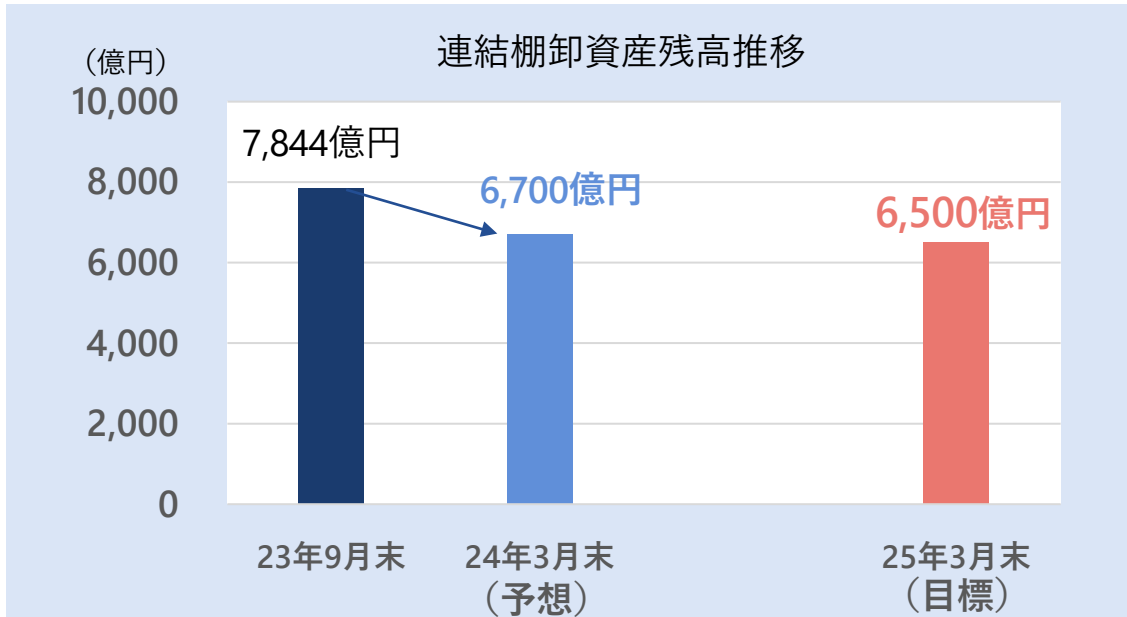
24年3月末予想

6,700億円 (約▲1,100億円)

(目標：約1,500億円削減(24年度末時点))

- 南米農薬在庫が大きく減少
- 石化樹脂、レゾルシン等の在庫減少

引き続き、短期集中的に在庫削減に取り組む

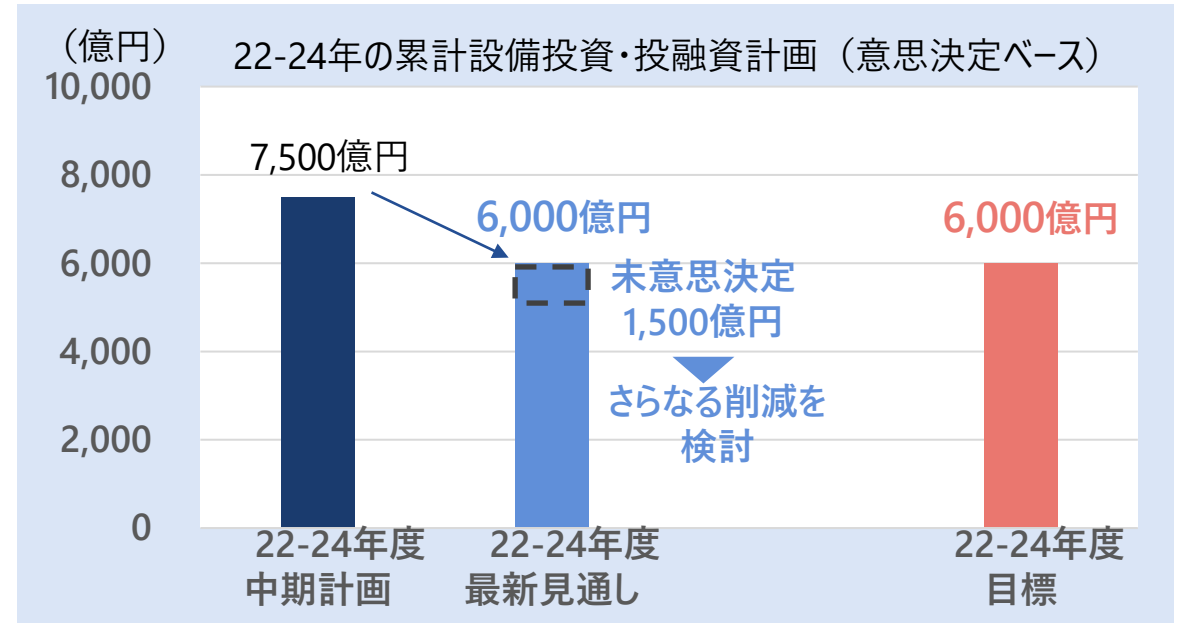


投資厳選

22-24年累計予想(意思決定ベース)

7,500億円 → **6,000億円**

- 投資厳選500億円、投融資圧縮1,000億円
- バイオラショナル・高機能材料等、成長分野へ厳選投資



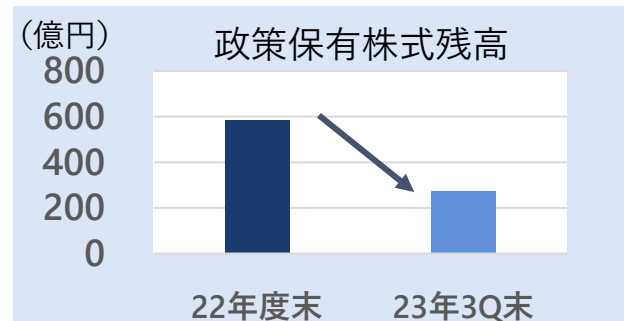
政策保有株式は、ゼロを目指して売却加速。

持分法適用会社株式は、検討中の構造改革の方針に沿って保有の在り方を決定。



政策保有株式売却 (目標：500億円 (24年度末までに))

- 事業会社、金融株など、3Q末までに**約310億円**を売却済み
- 将来はゼロを目指す



その他資産売却

(目標：300億円 (24年度末までに))

- **持分法適用会社**である稲畑産業株式を売却決定。
最大約230億円のキャッシュ創出



余資活用

(目標：700億円 (24年度末までに))

- グループファイナンス(CMS等)により海外グループ会社の余資有効活用
- **23年度末時点で約700億円の見込**



(参考資料)

2023年度3Q セグメント別 コア営業利益 vs 前年同期 実績

(億円)

	2022年度 3Q実績	2023年度 3Q実績	増減	増減要因
エッセンシャル ケミカルズ	-20	-620	-600	交易条件悪化、出荷減少
エネルギー・ 機能材料	169	94	-75	出荷減少
情報電子化学	437	368	-69	出荷減少
健康・農業 関連事業	472	-14	-485	南米農薬需要減、在庫削減、 メチオニン市況下落
医薬品	431	-956	-1,387	ラツダ独占販売期間終了
その他	-67	-11	56	
合計	1,422	-1,139	-2,560	

2023年度3Q セグメント別 コア営業利益 四半期推移 実績

(億円)

	2023年度 1Q実績	2023年度 2Q実績	2023年度 3Q実績	2023年度 3Q実績 (累計)
エッセンシャル ケミカルズ	-210	-234	-176	-620
(うちPRC)	(-127)	(-165)	(-103)	(-396)
エネルギー・ 機能材料	30	35	29	94
情報電子化学	67	112	190	368
健康・農業 関連事業	-70	-5	62	-14
その他	-19	-16	24	-11
小計	-203	-108	129	-183
医薬品	-333	-322	-301	-956
合計	-536	-431	-172	-1,139

2023年度 セグメント別 コア営業利益予想（上下差）

（億円）

	2023年度 上期実績	2023年度 下期予想	増減	増減要因	11月 下期予想
エッセンシャル ケミカルズ	-444	-426	-18	需要回復遅れによる出荷減少等	-306
エネルギー・ 機能材料	65	-15	-79	在庫削減に向けた生産調整、 経費の下期へのズレ等	-45
情報電子化学	178	202	23		152
健康・農業関連 事業	-76	476	551	インディフリン等自社品拡販 北米、日本農薬需要期による出荷増	476
医薬品	-655	-655	0		-35
その他	-35	-65	-29		25
合計	-967	-483	483		267

注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。